

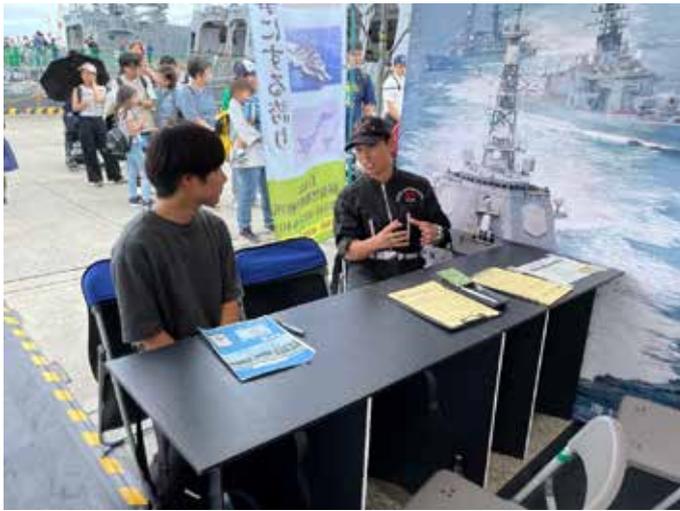
## 「よこすかYYのりものフェスタ2024」で募集広報活動

自衛隊神奈川地方協力本部横須賀地域事務所（所長 田尾雅弘3等海佐）は、6月8日（土）及び9日（日）に横須賀市内各地で開催された「よこすかYYのりものフェスタ2024」に参加し、海上自衛隊横須賀地方総監部（横須賀市西逸見町）の会場に自衛官募集ブースを開設して募集広報活動を実施しました。

会場には両日で2万人を超える来場者があり、横須賀地域事務所の募集ブースにも多数の方が立ち寄って、装備品のプラモデルの展示を見たり、自衛官採用制度のパンフレットを手にとって広報官や現役防大生に熱心に質問したり、にぎわいを見せていました。

来場者の中には、「防衛大学校を志望しているが、体力に自信がないのが不安」と相談し、現役防大生から「最初は体力に自信がなくても、入学後に少しずつ段階的に体力作りをしていくので大丈夫です」と聞いてほっとした様子をみせていた男性や、「実際に護衛艦に乗れた事と採用試験に合格するためにはどのような勉強をしたら良いか聞けて良かった」と満足そうな海上自衛官志望の女性など、自衛隊に対する関心の高さが感じられました。

横須賀地域事務所は、「今後も地域で開催される各種行事に積極的に参加し、地域の方々と密接に連携して募集活動に取り組んでまいります。自衛隊に興味がある方の問い合わせをお待ちしています」としています。



## 富士総合火力演習見学を引率

自衛隊神奈川地方協力本部上大岡募集案内所（所長 荒木功順3等陸佐）は、5月26日（日）に実施された富士総合火力演習の見学へ、募集対象者と保護者計20名を引率した。

今年は演習の一般公開やライブ配信が行われず、限られた見学参加者のみが大規模な演習を間近で見られる大変貴重な機会とあって、中には大きなカメラを抱えた参加者もいるなど、皆、この日を楽しみにしていた様子だった。

当日は曇天で富士山を望むことはできなかったが、演習が行われる東富士演習場はこの時期とは思えないほど涼しく、見学に最適な気候となった。

参加者たちは、初めて実際の演習を見て、最初は装備品の機動性の高さ、射撃の轟音やその命中精度に圧倒された様子だったが、演習が進むにつれ、引率の広報官に装備品の性能や訓練内容を確認するなど、自衛隊に対する関心が次第に高まっていることがうかがえた。演習終了後も興奮冷めやらぬ様子で感想を話す募集対象者もいて、映像で見ただけでは分からない実物の迫力を感じて、見学を楽しんでもらえたようだった。

上大岡募集案内所は、「今後もイベントを活用して自衛隊を理解してもらおうとにも、入隊への意欲を高めていきたい」としている。

